

富士見市 文化芸術事業報告書



平成29年度版
富士見市


平成29年度評価シート評価基準確認票

評価	基準
A	達成に向け、順調に進捗している。
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。
未実施	荒天等で中止となった事業

【 事 業 】

事 業 名	富士見市文化芸術振興職員研修
事 業 概 要	テーマ『現代社会に求められるコミュニケーション』 演劇ワークショップ「対話劇をつくろう」 講師：平田 オリザ氏 (劇作家・演出家、劇団「青年団」主宰、富士見市文化芸術アドバイザー)
全 体 目 標	富士見市職員として、文化芸術施策の現状を学び、自治体としてのアイデンティティを内外に発信していくために、また自治体職員としてさらなる素養の向上を図ることを目的とする。
対 象	全職員（非常勤嘱託職員含む）
開 催 日 時	10月末～11月中旬頃
会 場	富士見市役所 全員協議会室

【 評 価 】

開 催 日 時	平成30年1月19日		
参 加 人 数	35人	昨年度参加人数	26人
担 当 課 価	講師の体験に基づく文化芸術の話を織り交ぜながら、演劇手法を用いたコミュニケーション技法の研修を行った。他の研修とは異なる方法での実施であったため、受講者にとって新鮮で主体的に参加しやすく、実感をもって理解を図ることができたと考える。 また、「相手とのイメージの共有や双方の価値観に基づいた考え方などについて学ぶことができた。」「同じことをしているつもりなのに、ズレや違いがあることを具体的に体験できた。」という意見を多く受講者から確認できたのは、研修として非常に効果的であったことの裏付けであるといえる。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修を通して学んだことの落とし込み ・市民との関わり合いの中で、職員がより質の高いコミュニケーションを図れるために、全職員受講を目指す。 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	ふるさと祭り推進事業
事 業 概 要	ふるさと祭りの開催（お囃子の上演、ステージイベント発表等）
全 体 目 標	市民の実行委員会形式による協働事業により、まちのにぎわいの創出を図るため、開催場所周辺の居住環境の変化に配慮しながら、市民に愛され、永く継続可能な祭りにする。 祭りに多くの人々が来場し、富士見に息づいているお囃子や輪踊り、商工業、環境保全等に触れ、魅力あるまち「富士見」を発見していただく機会とする。
対 象	一般市民
開 催 日 時	10月28日（土）
会 場	文化の杜公園周辺

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年10月28日		
参 加 人 数	45,000人	昨年度参加人数	57,000人
担 当 課 価	富士見ふるさと祭りは今年で13回目を迎え、実行委員が中心となり、企画・運営の段階から多くの市民の参加と協力により開催することができた。 雨天により、途中で一部のイベントを中止したが、市民団体によるダンス、バンド演奏、お囃子など、市内で活動する団体に発表の場を提供するとともに、子どもからお年寄りまで、世代を超えた多くの市民の方が多様な文化芸術に触れ合う機会を作り出すことができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・より多様な分野の市民団体に対する参加促進 ・文化芸術を広めるため、さらに有効な方法の検討 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		B
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	文化振興基金積立事業
事 業 概 要	文化振興基金の積立、活用
全 体 目 標	文化芸術振興基金の積立、管理を行う。 文化芸術振興基金の活用方法の検討を行い、市の文化芸術の振興を図る。
対 象	
開 催 日 時	通年
会 場	

【 評 価 】

開 催 日 時	通年		
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 評 価	文化芸術振興基金の利子として、本年度は64,576円の利子を積み立てた。今後の基金活用に向けて奨励金・補助金・助成金等について調査を行い、基金の有効活用について文化芸術振興委員会・庁内委員会で協議を始めた。		
今 後 の 課 題	・具体的な交付基準の検討		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化会館維持管理事業
事 業 概 要	①市民文化会館キラリふじみ指定管理料 ②第1次舞台設備等改修工事实施設計業務委託 ③施設修繕（中央監視装置更新工事、三点吊マイク改修工事他）
全 体 目 標	設置から15年以上が経過していることから、経年劣化による修繕等が増加しており、安全、快適に施設利用ができるよう、長期的な視点に立ち、計画的に施設及び設備の改修を行う。
対 象	
開 催 日 時	通年
会 場	キラリ☆ふじみ

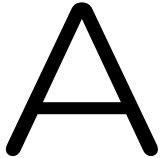
【 評 価 】

開 催 日 時			
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 価	指定管理者との緊密な連絡調整により、安定した施設運営に努めることができた。 工事・修繕関係については、年度当初に計画していた通り実施することができ、文化活動の拠点として安全で快適な施設提供に努めることができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	市民文化推進事業
事業概要	文化芸術振興委員会・文化芸術振興庁内委員会の開催
全体目標	富士見市文化芸術振興基本計画の進行管理
対象	
開催日時	年4回（予定）
会場	鶴瀬公民館集会室 他

【 評 価 】

開催日時	振興委員会 平成29年7月24日・11月21日・平成30年2月20日 庁内委員会 平成30年1月29日		
参加人数	振興委員会 14人 庁内委員会 18人	昨年度参加人数	振興委員会 14人 庁内委員会 18人
担当課題	本年度は振興委員会3回と庁内委員会1回を実施し、計画の中間見直しに向けたスケジュール、評価方法及び文化振興基金の活用について協議した。 30年度の文化芸術振興基本計画中間評価・見直しに向けて、引き続き検討・協議を行う。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に対する評価の「見える」化 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	小学校合唱部指導者派遣事業
全 体 目 標	市内小学校6校（つるせ台小・南畑小・諏訪小・みずほ台小・ふじみ野小・鶴瀬小）の合唱部に、大学などで声楽を学んでいる専門家を派遣し、市内小学生合唱部の活性化と文化芸術の裾野を広げる事業。 講師は、近隣音楽大学若しくは大学合唱部（淑徳大学、武蔵野音楽大学）などを予定。
対 象	市内小学校6校合唱部児童（鶴瀬小、諏訪小、みずほ台小、南畑小、ふじみ野小、つるせ台小）
開 催 日 時	各学校にて調整
会 場	各学校

【 評 価 】

開 催 日 時	各学校による		
参 加 人 数	644人	昨年度参加人数	762人
担 当 課 価	NHK全国学校音楽コンクール、埼玉県合唱コンクールの出場などに向けて、市内小学校合唱部へ講師を派遣した。先生、児童にも好評であり、本年度は市内小学校が上記のコンクールで入賞するなど、成果が実を結びつつある。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他市町から赴任した音楽教諭に対する本事業の周知 ・ 参加校が拡大した時の予算措置 ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	子ども文化芸術大学☆ふじみの開校
全 体 目 標	小学校4～6年生までの子どもたちが、優れた文化芸術に触れる機会として設置。講師には、富士見市にゆかりのある芸術家を中心として依頼する。 本年度は、演劇、音楽、古典芸能などのほか、書道の講座を予定しており、学校や日常生活では触れる機会の少ない経験を通じて、子どもたちへの文化芸術活動の充実を図る。
対 象	市内在住・在学の小学生（私立含む）4年生～6年生
開 催 日 時	9月～ 全5回
会 場	キラリ☆ふじみ 他

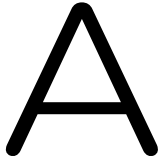
【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年9月30日～平成30年1月20日 全5回		
参 加 人 数	31人	昨年度参加人数	35人
担 当 課 評 価	本年度も受講者、保護者ともに「貴重な体験ができた」「普段できない体験ができた」とのご意見をいただいた。普段、学校や家庭では体験できない機会を提供することで、子ども達の感性や創造力を高め、文化芸術への裾野をひろげることができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士が打ち解けた状態で講義をスタートできる工夫 ・講義内容の見直し ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	陸上自衛隊音楽隊コンサート
全 体 目 標	演奏活動を通じて様々な慰問活動などの実績があり、例年好評である自衛隊音楽隊によるコンサートを実施する。 市内中学校及び富士見高校吹奏楽部を招待し、優れた文化芸術活動の鑑賞の場として、文化芸術活動の底上げと技術の向上を図る。
対 象	一般市民、市内中学校・高等学校吹奏楽部生徒
開 催 日 時	8月9日（水）
会 場	キラリ☆ふじみ メインホール

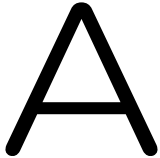
【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年8月9日		
参 加 人 数	744人	昨年度参加人数	719人
担 当 課 価	平成24年度に市制40周年事業として開催。好評であったため、以降平成26年度を除き毎年度開催しており、毎回ほぼ満席となるイベントとして定着している。 本年度も市内中高生を招待し、優れた演奏を身近に感じることができる機会を提供することができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場券配布方法の確立 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・第53回富士見市民文化祭の開催 展示発表 民謡大会 舞台発表 将棋大会 市民美術展 市民音楽祭
全 体 目 標	市民の文化活動の発表と交流の場として開催し、市民文化活動の振興を図る。 市内の文化4団体が中心となった実行委員会を組織し、市民（団体）と市との協働で開催し、それぞれのジャンルにおいて、展示発表・芸能発表・音楽発表・民謡発表及び将棋大会を行い、相互の交流を図る。
対 象	一般市民
開 催 日 時	平成29年11月上旬
会 場	キラリ☆ふじみ 鶴瀬西交流センター

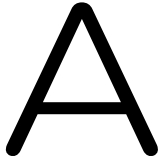
【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年11月3日～11月19日		
参 加 人 数	8,886名	昨年度参加人数	7,322名
担 当 課 評 価	展示発表・芸能発表・音楽発表・民謡発表及び将棋大会など、様々なジャンルの文化芸術活動を行う市民同士の相互交流の場として定着している。また、体験コーナーや作品鑑賞会・舞台発表など、一般市民に向けた催しを通じて、気軽に文化活動に親しめる機会を創出することができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭をより身近に感じてもらうための工夫（広報や体験コーナーのさらなる充実等） ・若い世代を呼び込むための取り組み 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	市民文化推進事業		
事業概要	職員合唱団の結成		
全体目標	新入職員を中心とした市職員の合唱団を結成し、市民音楽祭に参加される市民団体の方々などとの交流を図るとともに、職員一人ひとりが文化芸術の必要性などを理解し、心の豊かさを享受できるような「職員の文化化」を進める。		
対象	市職員		
開催日時	10月～11月（週1回練習） 11月（市民音楽祭参加）		
会場	キラリ☆ふじみ 他		

【 評 価 】

開催日時	平成29年11月19日（富士見市民音楽祭に参加）		
参加人数	60人	昨年度参加人数	60人
担当課題 担 評	職員有志を中心とした平成22年度からの継続事業であり、市民音楽祭への参加に向けた練習を8回行った。 市内在住のプロの音楽家から指導を受けるなど、本格的な文化芸術を身近に触れる機会を作るとともに、市民や職員同士の交流を図ることができた。また、職員の文化芸術振興のまちづくりに対する理解を深めることができた。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
評価			
A B C D 未実施	達成に向け、順調に進捗している。 達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。 課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。 効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。 荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	地域活性化事業
事 業 概 要	地域情報のネットワークサービス
全 体 目 標	地域活性化を目的とした、市内を紹介するアプリ（「ココシル☆ふじみ」）を活用し、市の観光スポットや地域施設などの情報提供を進める。
対 象	一般市民
開 催 日 時	随時
会 場	

【 評 価 】

開 催 日 時	随時		
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 価	市を紹介するアプリ「ココシル☆ふじみ」を運営し、観光情報をはじめ、キラリふじみの公演情報、地域情報などを随時発信し、多くの方に情報発信を行うことができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発信内容・体制の充実 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		B
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	舞台芸術鑑賞会実行委員会
全 体 目 標	市民が自ら鑑賞したい芸術作品を選出し、誘致する試みとして組織された舞台芸術鑑賞会実行委員会に対し、補助金を支出する。初年度となる今回は松竹大歌舞伎・中村芝翫襲名披露公演を誘致する。
対 象	一般市民
開 催 日 時	9月25日（月）
会 場	キラリ☆ふじみ メインホール

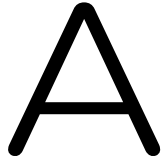
【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年9月25日		
参 加 人 数	738人	昨年度参加人数	
担 当 課 価	文化芸術によるまちづくりを進めるため市民が主体となり組織された「富士見市の文化芸術を支援する会」並びに「富士見市舞台芸術鑑賞会実行委員会」との協働により「松竹大歌舞伎」を開催した。 歌舞伎は富士見市では初めての試みであったが、アンケート結果では「役者の立ち振る舞いで色々なことが伝わってきた」「機会があればまた観たい」などの声を多くいただいたことから、文化芸術のすそ野を拡げることが出来たと考えている。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の選定 ・事務局の負担軽減 ・運営体制の確立 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		B
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【事業】

事業名	環境問題啓発ポスターの展示
事業概要	環境問題の啓発活動の一環として、市内の小・中・特別支援学校に通う児童・生徒を対象に募集した環境問題啓発ポスターを展示する。
全体目標	次世代を担う子どもたちに対し環境問題についての意識高揚を図るとともに、ポスターの活用を通して、一般市民にも啓発することを目的とする。
対象	市内の小・中・特別支援学校に通う児童・生徒
開催日時	10月28日（土）開催の富士見ふるさと祭り当日を含む2週間程度
会場	①【富士見ふるさと祭り開催前】市役所1階市民ホール ②【富士見ふるさと祭り当日】キラリ☆ふじみ展示室

【評価】

開催日時	10月28日（土）開催の富士見ふるさと祭り当日を含む2週間程度		
参加人数	1,000（ふるさと祭りでの来場者）	昨年度参加人数	2,500（ふるさと祭りでの来場者）
担当課 評価	天候等の影響により、昨年度より、入場者数は減少したものの、環境問題を啓発していくという目的を達成できた。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出展者の更なる増加を図りたい。 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	ふじみ野交流センター生涯学習事業
事業概要	①七夕まつり ②ティータイムコンサート ③ふじみ野文化祭
全体目標	音楽鑑賞会や団体、サークルの日常活動の発表を通じた、地域住民の交流と生涯学習活動の相互理解を深める機会とする。 伝統文化の体験を通じた多世代間交流と仲間づくり。
対象	一般市民 小学生
開催日時	①8月 ②12月 ③平成30年3月
会場	ふじみ野交流センター

【 評 価 】

開催日時	①七夕まつり平成29年8月5日 ②ティータイムコンサート平成29年11月12日 ③ふじみ野文化祭平成30年3月3日～4日		
参加人数	①116人②60人③未定	昨年度参加人数	①150人②42人 ③1300人
担当課題 担 評 価	七夕まつりは午前に流しそうめん、午後七夕を開催し一日を通して夏の風物詩、吹き矢や弓矢のむかしの遊びの体験コーナーを新たに開催。また、ティータイムコンサートについては好評で参加者も増加するなど、文化芸術に、ふれる・体験・聴くを地域交流とともに機会の提供ができたものと考えています。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人員が増加することで会場の狭隘など、新たな課題が発生している。 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	鶴瀬西交流センター生涯学習事業
事業概要	①リラックスタイム ②第12回鶴瀬西交流センターフェスティバル
全体目標	①地域で音楽・文化・芸術分野で活動する方を招き、地域の交流と親睦を深める場とする。 ②西交流センターを利用するサークル・団体の活動を発表する場を提供し、利用者や地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。
対象	一般市民
開催日時	①年4回（6月 8月 12月 平成30年2月） ②9月30日（土）、10月1日（日）
会場	鶴瀬西交流センター

【 評 価 】

開催日時	①平成29年6月25日、8月6日、12月22日、平成30年2月25日 ②平成29年9月30日、10月1日		
参加人数	①365人 ②60団体	昨年度参加人数	①355人②63団体
担当課 担 当 課 価	①本年度は「うたごえ広場」、「ジャズ&ラテンコンサート」、「キャンドルナイト」、「ピオラとオカリナを楽しもう!」を開催。幅広い世代の方に来場いただき盛況であった。参加者からの評判もよい。 ②実行委員会の協力を得て実施することができた。来場者数はおよそ3,000人。鶴瀬西交流センターで活動する団体の展示や舞台発表、模擬店の他、今年は新企画として小学生以下の子どもを対象に「新米のつかみどり」「藁の工作体験」を実施。30組ほどの親子に楽しんでいただけた。		
今後の課題	①運営する際の市民ボランティアが高齢化し、担い手が不足している。 ②参加者は高齢者が多いため、若い世代にもPRしていきたい。さらには、鶴瀬西地域以外の方にも足を運んでいただける工夫が必要と感じる。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	針ヶ谷コミュニティセンター維持管理事業
事業概要	①第13回みずほ台・針ヶ谷合同文化祭 ②定期鑑賞会
全体目標	①みずほ台コミセン・針ヶ谷コミセンで活動するサークル・団体に実行委員会を作り、1年間の活動成果を発表する場を提供し、地域の方々との交流やコミュニティ活動の促進を目指す。 ②地域ニーズを反映した音楽・芸術などの鑑賞会を実施し、地域の交流と親睦を深める場とする。
対象	一般市民
開催日時	①平成30年3月3日（土）、4日（日）予定 ②月1回程度
会場	針ヶ谷コミュニティセンター

【 評 価 】

開催日時	①3月10日（土）、11日（日） ②5月14日、6月25日、9月24日、12月3日、2月25日（いずれも日）		
参加人数	①3,293名 ②延べ489名	昨年度参加人数	①2,928名 ②延べ1,114名
担当課 担 評 価	①今回も実行委員会方式で開催した。針ヶ谷、西みずほ台を中心とした近隣地域のサークル・団体による作品展示、舞台発表のほか、オープニングには針ヶ谷保育園児による和太鼓の演奏で盛り上がり、好評のうちに文化芸術の祭典となった。 ②毎年、同時期の開催が多く（コンサートや寄席）、来館される方も定着している。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル参加者の高齢化が進み、会場設営、片付けにも従来より簡素で安全に行えることが求められている。 ・今後も利用者から幅広く要望を聞き、新しいイベントを検討する。 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【事業】

事業名	国際交流事業
事業概要	国際交流フォーラムの開催
全体目標	地域の国際化が進む中で、多文化・多民族社会をどのように理解しようしたらともに豊かに生活できるのかを考える機会とし、次のような場を作ることによってそれぞれの生活文化に触れ、理解を深めることを目標とする。 ①地域で共に暮らす人々が、国籍にかかわらず地域の構成員として生活していくために何ができるのかを考える場 ②さまざまな文化・習慣・環境について理解し、交流しあう場 ③国際交流にかかわるNPO・団体・市民との交流と連携の場
対象	市民、外国籍住民
開催日時	10月7日（土）
会場	キラリ☆ふじみ マルチホール他

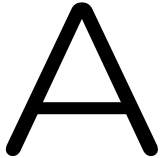
【評価】

開催日時	平成29年10月7日		
参加人数	475名	昨年度参加人数	480名
担当課	多様な文化に触れ、相互に理解を深めることを目標として、富士見市国際友好協会、NPOほか、国際交流関係団体との協働で開催した。 外国籍市民の主張、国際交流に関する展示、外国のお菓子の紹介（配布）、体験と交流コーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を提供し、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図ることができた。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の安定的確保 ・文化交流、相互理解を目的とした企画の工夫（新たな企画など） 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	子育て支援センター運営事業
事業概要	①人形劇 ②小さな子どものためのコンサート
全体目標	①小さい子どもから楽しめる内容の人形劇を開催し、親子で人形劇に親しみ、楽しい時間を共有してもらう。 ②小さい子どもでも目で見て楽しめるペープサートやクラシック曲の演奏など親子で気軽に楽しめるコンサートを開催し、楽しい時間を共有してもらう。
対象	未就学児とその保護者
開催日時	①9月15日(金) ②10月18日(水)
会場	①鶴瀬西交流センター多目的ホール ②キラリ☆ふじみメインホール

【 評 価 】

開催日時	①平成29年9月15日 ②平成29年10月18日		
参加人数	808名	昨年度参加人数	601名
担当課題 担 当 課 価	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇は人形劇あゆ(東風)のみなさんが本格的な舞台を設置し、「はらぺこあおむし」や「ぐりとぐら」など、初めて見るお子さんにも人形劇に興味津々で楽しんでいただきました。 ・コンサートは小さな子どものためのコンサート実行委員会が中心となり、東邦音楽大学打楽器アンサンブルの方々に出演を依頼し、親子で楽しめる選曲や風船送り、手作りタンバリンと一緒に演奏するなど、参加できる素敵な生演奏に大変喜ばれました。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいお子さんも一緒に親子で身近に親しめるよう継続していく。 ・参加人数は開催時期も影響すると思われ、暑い時期や寒い時期は避けて検討していく。 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	文化活動支援事業（ホール活用事業）
事 業 概 要	①つるこみ寄席「落語二人会」②クラシックコンサート富士見の春③熟年バンドLIVE④市民演劇のつどい⑤つるせオータムコンサート⑥ハートフルライブ⑦オペラ鑑賞講座⑧新春太鼓まつり⑨ファミリーコンサート⑩3.11を忘れないコンサート
全 体 目 標	鶴瀬コミュニティーセンター・ホールの活用を図り、市民団体が地域の身近な施設で伝統文化や文化芸術活動を発表する場の充実を目標とする。
対 象	一般市民
開 催 日 時	平成29年4月～平成30年3月
会 場	鶴瀬コミュニティーセンター・ホール

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年4月～平成30年3月		
参 加 人 数		昨年度参加人数	2,320人
担 当 課 評 価	さまざまな市民団体が、芸術発表の場としてホールを活用した。定例のイベントも増え、地域住民もさまざまな芸術に親しむ機会が充実している。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・音響、照明等のホール市民スタッフの育成 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館維持管理事業
事 業 概 要	活動に関する相談、情報提供。
全 体 目 標	公民館利用者に対し、活動に関する相談や情報提供を行うなど、活動しやすい環境づくりを進めると同時に、市民の豊かな文化芸術活動を維持するための支援を行い、サークル・団体が文化芸術の活動を長く続けるための課題解決に努める。
対 象	一般市民、公民館利用者
開 催 日 時	随時
会 場	各公民館

【 評 価 】

開 催 日 時			
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 価	利用者の活動に関する相談、情報提供を日常業務の中で行った。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館維持管理事業
事 業 概 要	修繕・工事など、施設の維持管理。
全 体 目 標	利用者が安心して利用できるよう、施設の維持管理を行う。必要に応じて、修繕や工事等を行う。
対 象	
開 催 日 時	随時
会 場	各公民館

【 評 価 】

開 催 日 時			
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 価 担 評	計画に沿って維持管理に努めた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	文化活動支援事業（げんもりかん）
事 業 概 要	市民団体である「げんもりかん」が年2回、自分たちで選定した映画の自主上映会を行う。
全 体 目 標	地域の身近な場所での映画鑑賞を通して、市民の芸術文化の充実を目標とする。
対 象	一般市民
開 催 日 時	1回目：6月3日（土）、2回目：1月20日（土） 各日3回上映 午前10時、午後2時、午後6時
会 場	鶴瀬コミュニティーセンター・ホール

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年6月3日、平成30年1月20日 各日3回上映 午前10時、午後2時、午後6時		
参 加 人 数	611人	昨年度参加人数	563人
担 当 課 価	メンバーの日頃の情報収集と、会議の中で様々な意見を出し合い、良質な作品を選定しており、参加者からも喜ばれている。また身近に映画文化に触れる機会として定着している。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・「げんもりかん」メンバーの増加 ・幅広い作品の選定 ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	障がい者の学習機会充実事業
事 業 概 要	ふじみ青年学級（障がいのある15歳以上の学級生が年間を通して音楽クラブ活動等の文化活動を行う。）が、年に1回のバレンタインコンサートを、市内の団体と共に開催する。
全 体 目 標	学級での日頃の音楽活動の成果を発表し、地域との交流を深める。
対 象	一般市民
開 催 日 時	平成30年2月18日（日）
会 場	鶴瀬コミュニティーセンター・ホール

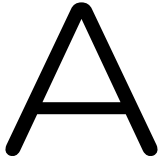
【 評 価 】

開 催 日 時	平成30年2月18日		
参 加 人 数	160人	昨年度参加人数	200人
担 当 課 価	出演はふじみ青年学級その他、ゆいの里（通所・入所）、和太鼓サークル「どんどこ」。ゲストにオペレッタサークル「はっぴれた塾」を迎えて盛大に開催された。出演者、来場者ともにさまざまなジャンルの音楽に触れることができ、心豊かな一日を過ごすことができた。また地域の住民と障がい者との交流の場にもなった。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストの選出 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事業名	平和・憲法啓発事業
事業概要	ピースフェスティバル 1987年、市として非核・平和都市宣言を行い、この理念を多くの市民に広げる目的で平和展示コーナー、市民平和祈念のつどい、愛と平和のコンサート、市民構成劇キッズ&若者ライブなどの開催。
全体目標	非核・平和都市宣言の理念を市民と確認し、広げることを目的とする。
対象	一般市民、児童
開催日時	7月1日（土）～2日（日）
会場	キラリ☆ふじみ

【 評 価 】

開催日時	平成29年7月1日～2日		
参加人数	3,500名	昨年度参加人数	3,300名
担当課題 評価	富士見市非核平和都市宣言30周年を記念し、今年は展示関係に特徴ある企画を実行委員全員で取り組んだ。見やすくわかりやすかったとの声が多かった。昨年より多くの来場者があり、展示や舞台発表をとおして「平和」を考える良い機会となった。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代の来場者増加のための内容の検討。 周知方法 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	子どもフェスティバル開催事業
事 業 概 要	富士見市の子どもたちの健全な成長を願い、富士見市のPTA連合会、放課後児童クラブ他の団体が、①アトラクション②縁日③子どもステージの各コーナーを企画している。
全 体 目 標	子どもたちに「ふるさと富士見」と呼ばれる文化を伝える場として開催する。
対 象	一般市民、児童
開 催 日 時	4月23日（日）
会 場	文化の杜公園周辺

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年4月23日		
参 加 人 数	30,000人	昨年度参加人数	20,000人
担 当 課 価	市民団体を主体とした実行委員会を組織し市民が積極的に関わり企画運営をしている。子どもたちはもちろん大人も幅広い世代の人と触れ合うことによって、「ふるさと富士見」の意識を育む機会になっている。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいより楽しめる企画の検討 ・ ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館学級講座等開催事業
事 業 概 要	つるせ公民館まつり 鶴瀬公民館利用者による日頃の学習成果の発表の場として、作品展示や 舞台発表等を行うとともに、地域の相互交流及び親睦を図る機会として 開催する。
全 体 目 標	鶴瀬公民館利用団体の相互交流を図り、日頃の活動の成果を発表する場 とする。
対 象	一般市民
開 催 日 時	5月20日（土）～21日（日）
会 場	鶴瀬公民館、鶴瀬コミュニティセンターホール

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年5月20日～21日		
参 加 人 数	3,000人	昨年度参加人数	3,000人
担 当 課 価	天候にも恵まれ賑やかに開催。今年度は、舞台発表前に通しリハーサルを実施 し、当日もスムーズな進行ができた。また、展示、模擬店、交流各部会も準備 から片付けまで協力し合いスムーズな運営ができた。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体が固定化しているので広く呼び掛けていく。 ・土曜日に行っている夜間の部の舞台発表について、午後の部に組み入 れられないかと課題あり。次年度検討。 ・模擬店の出店数が少ないことに加えて開催時間が短い。改善や工夫が 求められる 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	地域活性化事業
事 業 概 要	①うたごえ喫茶 in 針ヶ谷 ②うたごえ喫茶 in みずたに
全 体 目 標	懐かしい歌を通じての居場所・仲間づくりと地域の交流の機会
対 象	一般市民
開 催 日 時	①5月20日 ②12月9日
会 場	①針ヶ谷コミュニティーセンター ②水谷公民館

【 評 価 】

開 催 日 時	①平成29年5月20日 ②平成29年12月9日		
参 加 人 数	①98人 ②98人	昨年度参加人数	①94人 ②96人
担 当 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 針ヶ谷での実施は、なかなか水谷に来られない人たちにとって好評であった。 会場も針ヶ谷の方がきれいとの意見あり。 うたごえ喫茶の参加が複数回の人が多くなった。(アンケート結果より) 実行委員が自分たちも楽しみながら精力的に企画・運営している。 		
今 後 の 課 題			
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	市民文化推進事業
事 業 概 要	①わいわい楽器発表会 ②サークル活動公開月間 ③水谷文化祭
全 体 目 標	サークル活動や講座を通じて、発表や交流の場をつくりながら、お互いの親睦を図りながらを図ることを目的とする。
対 象	①②③一般市民
開 催 日 時	①6月18日②10月1日（日）～10月31日（火） ③11月12日～13日
会 場	水谷公民館

【 評 価 】

開 催 日 時	①平成29年6月18日②平成29年10月1日～10月31日 ③平成29年11月12日13日		
参 加 人 数	①50人②のべ66人③約2,000人	昨年度参加人数	①50人②37人③2,000人
担 当 課 評 価	①平成19年度の公民館主催の講座からサークル化した団体が自主的に企画・運営している。 ②サークル活動は基本開かれた活動であるが、「公開月間」とすることで、各サークル活動をより知ってもらうことや潜在的なサークル加入の促進。 ③中学生ボランティアの参画等、新しい取り組みを積極的に取り入れてきている。		
今 後 の 課 題	①来年度10回目の節目を迎え、さらなる企画の充実。 ②サークル活動公開月間に参加してもらえる団体を増やすこと。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館学級講座等開催事業
事 業 概 要	熟年学級（吹奏楽演奏）
全 体 目 標	水谷東地域在住の住民交流と学習及び文化の醸成を図る。
対 象	水谷東地区一般市民（60歳以上）
開 催 日 時	10月12日（木）10時～12時
会 場	水谷東公民館

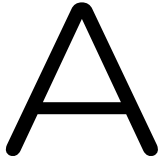
【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年10月12日		
参 加 人 数	72人	昨年度参加人数	（悪天候のため中止）
担 当 課 題	<p>（前半）安全講話、火災報知器の説明 （後半）吹奏楽。「世界にひとつだけの花」で始まり、演歌メドレーや、童謡メドレー。寅さんの「男はつらいよ」には大喝采でした。中村八大のヒットメドレー「上を向いて歩こう」等々。観客はみな感動していました。毎年、地域では消防の吹奏楽を楽しみにしている。</p>		
今 後 の 課 題	・事前のPR、チラシや声掛け。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		B
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館学級講座等開催事業
事 業 概 要	音楽の夕べ（オータムコンサート）
全 体 目 標	身近な場所で生の音楽に触れる機会をつくり、地域住民の交流を図る。
対 象	水谷東地区一般市民
開 催 日 時	10月21日（土）16時～17時（予定）
会 場	水谷東公民館

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年10月21日		
参 加 人 数	50人	昨年度参加人数	92人
担 当 課 評 価	市民に生の音楽の素晴らしさに触れてもらうイベントで音楽の夕べというタイトルで定着している。タイトルを、今回はアルゼンチン（ダンス音楽）チャマメコンサートとしてを開催したので分かりにくかった。 アコーディオン奏者牧田ゆきさんの愉快的語りと、素敵な歌声を交えたコンサートだった。ギタリストの福島久雄さんの演奏もすばらしいとの感想があった。 例年は12月イルミネーション点灯式とセットで実施していたが、29年度は12月は工事のため、10月にコンサートのみ実施した。その結果参加者が減少してしまった。		
今 後 の 課 題	・企画段階から、市民を交えて話し合い、PRに協力してもらう。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館学級講座等開催事業
事 業 概 要	水谷東文化祭
全 体 目 標	公民館を利用する団体等が一年間の活動成果を発表し、あわせて地域住民との交流を深める場として開催。
対 象	水谷東地区一般市民
開 催 日 時	11月18日（土）～19日（日）10時～16時
会 場	水谷東公民館

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年11月18日～11月19日		
参 加 人 数	1,250名	昨年度参加人数	1,300名
担 当 課 価	公民館を利用している団体・サークルの日頃の創作活動促進を目的として3部会に分かれそれぞれの成果を発表する場として、開催している。展示、舞台、模擬店催事など日頃の成果を存分に発揮して、市民又はサークル同士の相互交流を図っている。また、模擬店催事コーナーでは生花や墨絵など市民向けに催しを行い文化活動に親しめる環境を整備している。		
今 後 の 課 題	文化祭をもっと身近に感じてもらうため、体験コーナーの拡充等。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	公民館学級講座等開催事
事 業 概 要	『南畑ふれあい劇場』南畑お月見一座の新作公演 公民館主催ではあるが、準備から当日の運営までのそのほとんどを出演 団体が自主的に実施している。
全 体 目 標	公民館を活かした地域での文化芸術活動の充実。
対 象	一般市民
開 催 日 時	平成30年2月10日（土）14時～15時
会 場	南畑公民館多目的ホール

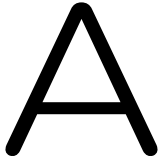
【 評 価 】

開 催 日 時	平成30年2月10日		
参 加 人 数	200人	昨年度参加人数	200人
担 当 課 評 価	身近な会場で身近な人が演者となり、地域の問題を提起していくことで、気軽に演劇を観る楽しさと、地域のことを考える機会作りの場になっている。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・2回公演が可能か ・新しい観客の取り込み 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	水子貝塚公園運営事業
事 業 概 要	縄文の森コンサート 水子貝塚展示館を会場に年1回開催。身近に楽しめるコンサートとして、楽器の和洋を問わずに、史跡内容に関連するテーマの演奏や、普段、公園を利用している人たちが親しみを持ちやすい楽曲を選定して、毎回1時間程度のコンサートとしている。 今年度は篠笛コンサートとして開催し、篠笛演奏として海外でも活動されている大野利可さんをお願いした。
全 体 目 標	水子貝塚公園に親しみを持ってもらうために開催する。 歴史公園にふさわしい伝統芸能や楽曲を直に見聞きすることで、水子貝塚公園に親しんでもらう機会とする。
対 象	一般
開 催 日 時	平成29年10月15日
会 場	水子貝塚公園内、展示館を予定

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年10月15日		
参 加 人 数	100名	昨年度参加人数	120名
担 当 課 評 価	昨年度より参加人数は減少したが、当日は雨だったにもかかわらず、多くの方が来場した。 来場者アンケートには、演奏内容や演奏者に対して評価が高く、またこのような催し物を継続的に開催して欲しいという意見も多かったため、水子貝塚公園に親しみを持ってもらうということに効果があった。		
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演奏内容 ・ 演奏者の人選 ・ 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	難波田城公園運営事業
事 業 概 要	古民家コンサート 難波田城公園の古民家を会場に年1回開催。身近に楽しめるコンサートとして楽器の和洋を問わずに、30分程度の演奏会を実施する。難波田城公園活用推進協議会との共催 今年度はヨーデル（小山のぞみ氏）
全 体 目 標	歴史公園にふさわしい伝統芸能や楽曲を直に見聞きすることで難波田城公園に親しんでいただく機会とする。
対 象	一般
開 催 日 時	10月22日（日）
会 場	難波田城公園内、古民家ゾーン

【 評 価 】

開 催 日 時	平成29年10月29日(日) 台風のため当初予定日より延期		
参 加 人 数	20人	昨年度参加人数	110人
担 当 課 評 価	難波田城公園で撮影され、世界的に話題となったネット動画「チキンアタック」にちなんだ企画。小山氏は、チキンアタックの主演・石井氏の弟子。開催日も台風の影響による悪天候だったが、再度の延期は困難なため決行した。このため、来場者は少なかった。しかし、ヨーデルの明るい響きは、古民家がドイツの農家のように、戸の外には白い雲を浮かべた青空を戴くアルプス山麓の牧場が広がるような雰囲気を生み、参加者の満足度は高かった。		
今 後 の 課 題	・主催者側が音楽の世界と縁遠いため、出演者を選ぶ安定した仕組みがない		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		B
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【 事 業 】

事 業 名	音楽会・芸術鑑賞教室事業
事 業 概 要	校内音楽会 市内音楽会 芸術鑑賞教室
全 体 目 標	児童生徒を対象に、音楽や芸術に親しむため、発表する場や鑑賞する機会を設ける。
対 象	小・中・特別支援学校児童・生徒
開 催 日 時	各校の開催日
会 場	各小・中・特別支援学校


【 評 価 】

開 催 日 時	各校の開催日		
参 加 人 数	全児童・生徒（約2700名）・保護者	昨年度参加人数	全児童・生徒（約2700名）・保護者
担 当 課 評 価	各校において音楽会、合唱子コンクールを開催。日程については教育委員会だより「きんもくせい」に掲載し、周知した。 市内音楽会については各校代表学年またはクラスが参加した。 芸術鑑賞教室については演劇、音楽等、各校の実態に応じて開催。		
今 後 の 課 題	・小学校の音楽会は体育館を会場とする学校が多いが、保護者も含めると入りきらないため二日間にわたる開催、入れ替え制など各校で工夫を強いられている		
評価			
A B C D 未実施	達成に向け、順調に進捗している。 達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。 課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。 効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。 荒天等で中止となった事業		A

【 事 業 】

事業名	図書館運営事業
事業概要	①おはなし会…図書館スタッフ・ボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング ②映画会…名作映画会、こどもえいがかいの開催
全体目標	図書館利用のきっかけ、図書館利用の増加につなげる。また、子どもが本に親しむ機会を広げ、読書を通して成長を支える。
対象	一般市民 子ども
開催日時	各図書館の予定に依る
会場	中央図書館・ふじみ野分館・鶴瀬西分館

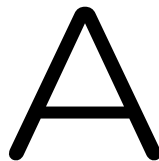
【 評 価 】

開催日時	各館毎月平均4～5回（中央館は長期休館のため、4～6月のみ）		
参加人数	<p>【おはなし会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央186人 ふじみ野 1301人 鶴瀬西969人 <p>【映画会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央356人 ふじみ野 173人 鶴瀬西195人 	昨年度参加人数	<p>【おはなし会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央973人 ふじみ野701人 鶴瀬西516人 <p>【映画会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央1,297人 ふじみ野139人 鶴瀬西230人
担当課 評価	中央館休館中も各分館で季節に合わせたおはなし会や音楽・わらべうたを取り入れたおはなし会等積極的に実施した。また、保育所向けのおはなし会等も実施した。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 音楽・わらべうたを取り入れたおはなし会等分館で好評だった事業の継続。 中央館リニューアルによる利用者の増加 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【事業】

事業名	市民文化会館自主事業（鑑賞型事業）
事業概要	キラリふじみ・リージョナルカンパニー ACT-F（アクトエフ） キラリふじみ・ダンスカフェ キラリ☆風流寄席～平成落語ブーム!!いま、落語が面白い～ 田中浜・柳家喬太郎セッション『独眼譚』小泉八雲へ gener:Gray KUROSOLO参番『涯なし』 キラリふじみ・レパートリー新作『僕の東京日記』 キラリ音楽祭2017～明日のために今日をはじめ～ 東京デスロック『ハッピーな日々』 キラリふじみ・コンサートシリーズ ニューイヤーコンサート2018 青年団『さよならだけが人生か』 キラリふじみ 錦秋狂言 万作の会『萩大名』『棒縛』 橋爪功・夜の朗読 キラリ☆かげき団 第12回公演 キラリふじみ×東南アジア＝舞台芸術コラボレーションvol.1 日本・タイ共同制作 『หลังเขา ลานคาโอ-私たちの森』
全体目標	オリジナリティ溢れる地域の芸術文化活動を振興する中核的な劇場としての機能と役割の確立にむけて、鑑賞型事業では、芸術監督とアソシエイトアーティストが中心となり制作したレパートリー作品をはじめ、他の公立劇場や芸術団体と連携して制作した舞台作品、さらに、国内外で生まれたすぐれたレパートリー作品を招聘するなど、地域の観客に幅広い鑑賞機会を提供する。
対象	一般市民 他
開催日時	
会場	キラリふじみ メインホール、マルチホールほか

【評価】

開催日時			
参加人数		昨年度参加人数	
指定管理者評価	芸術監督やアソシエイト・アーティストによる創作上演や外部の優れた芸術団体による上演など、地域の観客にむけて幅広い鑑賞機会を提供することができた。特に、今年度から3カ年をかけて行う、東南アジアとの舞台芸術作品の共同制作プロジェクトでは、その第1弾として、当館のアソシエイト・アーティストの白神ももこを中心に、日本とタイからコンテンポラリー・ダンス、伝統舞踊、演劇、音楽と異なるジャンルで活動するアーティストが共同で作品を創作上演し、大型の国際交流事業を実現できた。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・稽古場などの創作環境の整備 ・地域の観客の一層の掘り起こし 		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		

【事業】

事業名	市民文化会館自主事業（参加型事業）
事業概要	こどもステーション☆キラリ キラリ☆ふじみのアトリエ 小中学校へのアウトリーチワークショップ キラリ☆ふじみ・ワークショップ『ツナがる演劇。～中高生の最初の一歩～』 ふじみ大地の収穫祭 キラリ☆ふじみ・ワークショップ 夏休みこども劇場『えんげきをつくろう』 スタインウェイ演奏体験&観覧 サーカス・バザール キラリ☆ダンスフェスティバルv.o.115 第16回キラリ☆新春邦楽演奏会
全体目標	オリジナリティ溢れる地域の芸術文化活動を振興する中核的な劇場としての機能と役割の確立にむけて、参加型事業では、芸術監督やアソシエイトアーティストらが中心となり展開する、幅広い世代を対象にしたワークショップや市民とアーティストが協働した作品創造、市内小中学校等へのアウトリーチ、市民や関係機関と連携した幅広い市民が参加し交流する事業を実施する。
対象	一般市民 他
開催日時	
会場	キラリ☆ふじみ メインホール、マルチホールほか

【評価】

開催日時	
参加人数	昨年度参加人数
担当 課 評	芸術監督やアソシエイトアーティストらが中心となり、幅広い世代を対象にしたワークショップや市内小中学校等へのアウトリーチを積極的に展開した。特に今年度の新規事業である、『ふじみ大地の収穫祭』では、地元で伝わる伝統芸能や、地元の旬の農作物を食材とした創作料理や伝統食、さらに地元で古くから伝わる食の歴史や文化について知り、語り合える広場と、地域の交流に留まらず、農と食と芸能の相互の育みをあらためて実感する機会を提供することができた。
今後の課題	・学校アウトリーチの拡充に備えた人的及び経費的対応
評価	
A 達成に向け、順調に進捗している。 B 達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。 C 課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。 D 効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。 未実施 荒天等で中止となった事業	A

【 事 業 】

事 業 名	市民文化会館自主事業（情報発信事業）
事 業 概 要	キラリ☆ふじみ年間事業プログラム冊子の発行 キラリ☆ふじみ事業情報誌「HOTキラリ」の発行 キラリカレンダーの発行 ダイレクトメールの発送 広報ふじみへの情報掲載 市内及び近隣公共施設、全国の主要公立文化施設、マスコミ等へのチラシや企画書等の設置及び配布
全 体 目 標	当館の活動を広範囲に周知し、観客や参加者の拡大を図るため、様々な手法を用いて情報発信を行う。
対 象	一般市民 他
開 催 日 時	
会 場	

【 評 価 】

開 催 日 時	通年		
参 加 人 数		昨年度参加人数	
担 当 課 価	事業概要に掲げた手段を中心に、広範囲及び持続的に情報発信を行った。当館公式ツイッターやフェイスブックも活用し、一層弾力的な広報宣伝を行った。		
今 後 の 課 題	・より多くの観客獲得にむけた、鑑賞団体の新規開拓。		
評価			
A	達成に向け、順調に進捗している。		A
B	達成に向け、一部課題はあるものの概ね順調に進捗している。		
C	課題があるため、実施方法の見直しを検討する必要がある。		
D	効果が見込めないため、継続の是非を検討する必要がある。		
未実施	荒天等で中止となった事業		